

指導案：英語で読むマーク・トウェインのアメリカ

1．対象：主に高等学校 1～2 年生 総合的な学習の時間 1 時間～4 時間分

2．学習目標：

英語の授業で使われている教科書から離れた、読み物としての英語にふれる。
一定量の英文を時間内に読むための工夫をする。

要領よくまとめ、発表する。

アメリカの国民的作家、マーク・トウェインの生涯について学ぶ。

マーク・トウェインの生きた時代背景を、彼の生活と関連した事柄から考察することにより、異文化に目を向ける。

同時に現在世界において大きな影響力を持つアメリカという国を多面的に理解する。

3．指導観：

平易な英文を多読し、内容を読み取らせる。

教師も指示や説明は、なるべく英語で行う。(生徒の学年や英語のレベルによっては、教師が日本語で同じ内容の授業をすることも可能である。)

グループ学習を通し、生徒同士の協力を促す。

生徒の発表能力を高める。

アメリカの国民的作家、マーク・トウェインについて学ばせる。

マーク・トウェインを題材にアメリカの文化や歴史に触れさせる。

この授業を通してマーク・トウェインや、アメリカに興味を持たせ、彼の作品を生徒自らが読むよう促す。

4．使用する教材：

Prince, April Jones. *Who was Mark Twain?* New York: Grosset & Dunlap, 2004.

(アメリカの小学生向けに書かれたマーク・トウェインの伝記。)

5．授業の展開

	活動の内容	教師の動き	生徒の活動	留意点
導入	イラストの人物は誰か？	マーク・トウェインの顔のイラストを提示する。 Who is this person? Do you know him?	教師の質問に答える。(殆どの生徒が名前や写真だけではわからないと予想され	イラスト： <i>Who was Mark Twain?</i> の表紙。もしくは http://www.marktwainhouse.org/ 参

			る)	照。これらのイラスト、写真は生徒に興味関心を持たせるために用いる。
	『トム・ソーヤーの冒険』の著者として知っているか？	He is the author of <i>The Adventures of Tom Sawyer</i> . Who has ever read it? 読んだことのある生徒がいた場合はどのような内容か説明させて他の生徒の知識を深める。(生徒のレベルによりこの部分は英語、日本語は問わない)	読んだ経験のあるものは挙手などする。 ボランティアでストーリーを説明する。	
	マーク・トウェインとは？ (教師の説明を英語で聞く)	マーク・トウェインの簡単な説明をする。1の単語シートを配布し、理解の難しい重要語句は確認する。 2のコラム(マーク・トウェイン生涯)を読む、またはテキストのP1~2を全て英語で音読して聞かせることも可能。この後に行われるグループワークとの関連も述べておく。ここで音読した内容から簡単なトウェインの一生についての流れを板書、またはシートで用意しておき提示する。(テキストP102~103の年表を参照) その年表の中で次の活動で配布する 3のコラム、	教師の解説を聞く。 年表などを参考に理解の曖昧な部分を教師に質問する。	単語リストを配り解説を加える。 生徒のレベルに応じてプリントを配布してもよい。 英語のみで聞き取る場合、年表を用いることで生徒の理解を深める助けとする。 最終頁に、年表(参考例)が載せてある。

		<p>各グループ配布資料、と関連する部分に印をつけておき注目させる。</p> <p>ここで、トウェイン自身の生き方などのエピソードなどを加えたり、その時代についての補足説明を加えたりすることで 3 を用いたアクティビティの導入とする。</p> <p>解説の中で理解が曖昧な部分は質問するよう促す。英語の授業ではないので、分からない部分は日本語で説明することも可能である。</p> <p>また、質問された箇所に関しては補足的な時代背景の説明なども臨機応変に行うことができる。</p>		<p>教師は生徒を巻き込むために度々質問をしたり、生徒に印象を尋ねたりして、生徒の発言の場を増やし、一方通行な説明に終わらないように留意する。</p> <p>重要語句や時代背景の解説に関しては 1 の日本語を参考に行うことが可能である。</p>
展開	<p>マーク・トウェインの時代背景に関するコラムを各自黙読。</p> <p>グループで内容の確認。</p>	<p>各グループにコラム(3 から まで) を配布する。次のアクティビティで用いるワークシート 4 も配布する。</p>	<p>コラムを理解する。グループ内では日本語で理解の確認をする。</p>	<p>クラスを 6 グループに分ける。</p> <p>各グループに から のコラムを分担させる。各グループのメンバーは同じコラムを読む。</p> <p>ワークシートは他のグループが担当するコラムについて聴く際のポイントを明確にするのに役立つので事前に配布する。</p>

	<p>各グループをさらに2つに分け、他のグループに自分たちの読んだコラムの内容を伝える（日本語で）役割と、席にとどまり、他のグループに割り当てられたコラムの内容をメモする役割とを分担する。</p>	<p>内容を伝える生徒を順番に他のグループに回らせる。</p> <p>教室を回り滞っているグループなどには手助けをする。</p>	<p>教師の指示に従い、グループを、内容を伝える生徒、他のグループの内容を聞く生徒の二つに分け役割分担をしてアクティビティに参加する。</p>	<p>時間を区切りながら、（5分ずつ程度）時計回りにグループを回るようにする。</p> <p>コラムの内容を的確に伝えているかを、教師は注意する。（ワークシートの解答だけを、伝えるのではない。）</p>
	<p>全てのグループでコラムの内容を共有する。</p> <p>理解の確認のため各コラムについてのまとめのワークシート4（クイズ形式）を完成させる。</p>	<p>ワークシートを完成するよう指示する。</p>	<p>グループごとにワークシートに取り組む。</p>	

	答えの確認	各グループに担当したコラムについての説明をさせワークシートの答えを確認させ全員で理解を共有する。 各グループの説明を、教師が補足する。	各コラムに関する発表を聞きワークシートの答えを確認する。	各グループの正答率を発表して生徒の達成感を高める。
まとめ	教師のまとめを聞く。	「マーク・トウェインは日本で言えば夏目漱石のように、アメリカ人なら誰でも知っている偉大な作家です。機会があれば彼の作品をぜひ読んでみましょう。また、これをきっかけに、アメリカに興味を持つ人がいるかもしれません。アメリカについても調べてみましょう。」		プリント（指導案末に添付、テキストp.101のコピー）を配る。 生徒には是非トウェインの作品を自ら読んでもらいたい。そのため、本時に学習した内容が多々作品の中で取り上げられていることなどを伝えると良い。

6. 授業のための資料

- 1 単語の解説（配布する際に、いくつかの単語の訳を空欄にしておいて、生徒に調べさせることも可能）

pp.1-2 Who was Mark Twain?

1. *The Adventures of Tom Sawyer* 『トム・ソーヤーの冒険』
2. *Adventures of Huckleberry Finn* 『ハックルベリー・フィンの冒険』
3. the Mississippi ミシシッピー川
4. Hannibal, Missouri ミズーリ州ハンニバル
5. lecture 講義
6. one-man show ワンマンショー
7. steamboat pilot 蒸気船の水先案内人
8. gold miner 金採掘者
9. racism 人種差別
10. greed 欲
11. injustice 不正

pp.10-11 Steamboat A-Comin!

1. steamboat 蒸気船
2. downriver 川下へ
3. unpredictable 予想が付かない
4. changing currents 変化する流れ
5. upriver 上流へ
6. workout 激務
7. awesome 恐ろしい
8. harness 利用する
9. inventor 発明者 cf. invent 発明
10. Robert Fulton ロバート・フルトン（1765 - 1815 米国の技師、蒸気船の発明者）

p.23 Safe Water?

1. leadsman （船の水深を測る）投鉛手
2. weighted line おもりの付いたロープ
3. knot （綱や紐などの）結び目
4. fathom ファザム（水深測定単位で、2 ヤード＝約 1.8 メートル）
5. barely かろうじて

pp.30-31 The Civil War 1861-1865

1. decade 十年 for decades 何十年もの間
2. the Civil War 南北戦争 (1861年 - 1865年)
3. Northern states 北部の州(南北戦争時、奴隷制に反対、オハイオ以北、工業が発達)
4. Southern states 南部の州(ヴァージニア以南、奴隷制を用いて綿花、タバコ栽培)
5. labor 労働
6. unpaid labor 無償労働
7. slave 奴隷
8. the Union (南北戦争時の)アメリカ合衆国の北部連合
9. Confederate States of America アメリカ連合(1861 - 1865 合衆国から脱退した南部 11 州が結成。州権維持と奴隷制擁護の憲法を制定した。)
10. slavery 奴隷制度
11. abolish 廃止する

pp. 62-63 The Dark Side of The Golden Age

1. the Gilded Age 金めっき時代、金ぴか時代(南北戦争後のにわか景気時代、1865 - 1900 : この時代米国は空前の好況を迎えるが、政治産業界は汚職が目立ち、国民には利欲心が蔓延した)
2. immigrant 移民
3. settle 定住する
4. tenement apartment アパート(特に大都市スラム街の)
5. Lower East Side ロウワーイーストサイド(NYマンハッタンの南東部、移民の安アパートがひしめくスラム街であった)
6. ventilate 換気する
7. shipyard 造船所
8. slaughterhouse 食肉処理場
9. assemble 組み立てる
10. sweatshop 搾取工場(低賃金で長時間労働させる)
11. penny ペニー(=ほんのわずかなお金)
12. the wealthy お金持ち
13. endure 我慢する

pp.72-73 Reconstruction

1. Reconstruction (南北戦争後の南部諸州の合衆国への)再統合、南部再

建

2. reunite 再統一する
3. station (動) 配置される
4. ensure 保障する
5. vote 選挙する
6. hold political office 公職に就く
7. furious 怒り狂った
8. secret society 秘密結社
9. Ku Klux Klan クー=クラックス=クラン (南北戦争後南部諸州で結成された白人の秘密結社。黒人や北部人への威圧と白人優越の維持を目的とした。)
10. disguise 変装する

pp.84-85 The Age of Invention

1. chore 毎日の仕事
2. available 手に入る
3. affordable (値段が) 手ごろな
4. skyscraper 摩天楼
5. span (橋が川に) かかっている

2 コラム (マーク・トウェインの生涯)

Mark Twain was America's greatest storyteller. *The Adventures of Tom Sawyer* and *Adventures of Huckleberry Finn* are his most famous books. He describes his works like this: "My works are like water. The works of the greatest masters are like wine. But everybody drinks water." (テキスト p.56)

He was born in 1835 and died in 1910. It is said that he was born on the day Halley's Comet blazed above the earth. And he died in the year Halley's Comet appeared above the earth again.

Mark Twain lived in the Mississippi River town of Hannibal, Missouri when he was a boy. He had an exciting life—he was a steamboat pilot, a gold miner, a newspaper reporter. He became the most famous and successful writer of his day. He wrote about not only funny stories but also serious problems in America such as racism and injustice of the society.

America changed a great deal during Mark Twain's life.

(マーク・トウェインの生涯を) 日本語で行う際の参考例

マーク・トウェイン(1835-1910)は、アメリカを代表する作家で、アメリカ人なら誰でも彼の名前を聞いたことがあります。1835年、アメリカ中部ミズーリ州の出身です。ミシシッピー川沿いのハンニバルという町で育ち、ミシシッピー川沿いを探検したりして、やんちゃな少年時代を過ごしました。ミシシッピー川は、アメリカで一番長い川で、ハンニバルのあたりでは、川幅が約1マイル(1.6m)もあったそうです。その時の経験を基に、『トム・ソーヤーの冒険』を書きました。11歳で父を亡くしたマーク・トウェインは、自活しなければなりませんでした。この頃、アメリカは、西部開拓を進めていました。マーク・トウェインは、お金持ちになりたいという夢を持ち、編集の仕事で、西部や東部でも働いたり、地元のミシシッピー川で蒸気船の水先案内人をしたり、ネバダ州の銀鉱で働いたりもしました。1861年には、奴隷制を巡って国を二分する、*南北戦争が起こっています。1866年にサンドウィッチ諸島(後のハワイ諸島)を、翌年にはヨーロッパを旅し、見聞を深めました。19世紀後半、作家として名を上げ、コネティカット州ハートフォードの邸宅に住みました。(現在ある、マーク・トウェインハウス)この時期、アメリカは、西へ西へと進出し、そしてテキサス併合、カリフォルニアの獲得などもあり、国土がどんどん拡張していきました。同時に、産業も発展し、いろいろ便利な物(タイプライターや、電話、電球など)も発明されていきます。また、移民の流入などで、都市化工業化が進んでいきます。19世紀後半は、*「金めつき時代」とも呼ばれています。マーク・トウェインの作品は、ユーモアに富む、おもしろいものも多いのですが、人種差別や不正など深刻な社会問題も取り上げています。アメリカという国は、マーク・トウェ

イン(1835 - 1910)の時代に、大きく変わっていきました。

* 南北戦争と南部の再建：テキスト pp.30-31、pp.72-73 を参照

* 「金めっき時代」：テキスト p.62 参照

3 コラム グループ学習配布資料

p.4 “Halley’s Comet”と p.23 “Safe Water?”

p.11 “Steamboat A-comin’!”

p.30 “The Civil War”

p.62 “The Dark Side of the Golden Age”

p.72 “Reconstruction”

p.84 “The Age of Invention”

出典 Prince, April Jones. *Who was Mark Twain?*. New York: Grosset & Dunlap, 2004.

4 ワークシート (クイズ)

時間配分や生徒のレベルによって問題を増やすこともできる。このワークシートを英語で作り変えて生徒に取り組ませれば問題の難易度を上げることができる。回答は内容が準じていれば正解にして良い。

- a. 彗星とは何ですか。
 - b. ハレー彗星は、大体何年に一度出現しますか。
 - c. 船の水深を測る投鉛手の仕事には何がありましたか。
 - d. マーク・トウェインという名前の由来を説明しなさい。
- a. 汽船が発明されるまで川の交通はどのようなものでしたか。
 - b. 1807年に誰が、何を発明しましたか。
 - c. 1800年代後半には何が主な交通手段となりましたか。
- a. 南北戦争の何十年も前、南部と北部にはどのような違いがありましたか。
 - b. 北部の勝利の後南部では何が起こりましたか。
- a. 金めっき時代に移民が増えましたが、彼らの多くはどの地域のどんな場所に住みましたか。
 - b. 移民の生活を、簡単に述べてください。
- a. 南北戦争後、解放された奴隷たちはどのような状況でしたか。
 - b. 南北戦争後に設立された秘密結社クー＝クラックス＝クランは何をしましたか。

それぞれの年に発明されたものを挙げてください。

1873年 1876年 1879年 1880年 1883年 1886年

ワークシート解答例

- a. 彗星とは、ちり、気体、雪や氷の塊で、太陽系の周りを回っている。
 - b. 約 76 年に一度
 - c. 水中に錘のついたロープを投げこむこと。
 - d. ロープの二つ目の印という意味で、「マートウェイン」という掛け声を聞くと蒸気船のパイロットは船が危険な水深に近づいているということを知ることができた。もともと蒸気船のパイロットだったサムエル・クレメンズ=マーク・トウェインの本名、はこの言葉をペンネームにした。
-
- a. 時間がかかり、困難なものだった。
 - b. ロバート・フルトンが蒸気船を発明した。
 - c. 汽車
-
- a. 南部には、奴隷の労働に頼る大規模農園があり、奴隷には、賃金は払われなかった。一方、北部では工場や小規模な農園があり、労働者に賃金を払っていた。
 - b. 奴隷制が廃止された。1877 年まで南部再建のため、北軍兵士が南部諸州に駐留し、黒人がちゃんと選挙をしたり、公職についたりできるか、監視した。しかし、北軍が撤退した後、南部の白人は、黒人を同等に見ることができず、黒人差別の法律を復活させるなど、依然として人種問題は、残り、1960 年代に公民権運動が起こる原因となった。
-
- a. 多くの移民は、東海岸の大都市の貧しい地区の長屋に住んだ。
 - b. 移民たちは、工場、造船所や食肉処理工場で、低賃金で働いたり、自分達が住む狭いアパートの自室で、葉巻を巻いたり、造花を作ったりという、低賃金で長時間に及ぶ内職仕事をした。家族総出で、働かなければならなかった。
-
- a. 財産がほとんどなく、読み書きもできなかった。
 - b. 白人優位社会を維持するために、白い頭巾に白の袋のような独特の衣装を身にまとい、黒人に対して暴力や殺人などを働き、彼らが選挙をしたり、権利を主張することを阻止した。

1873 年 タイプライター

1876 年 電話 (マーク・トウェインの家にもあった)

1879 年 電球、超高層ビル (シカゴの 16 階建てのレイトナービル)

1880 年 カメラ用ロール (巻き) フィルム

1883年 ブルックリン橋が完成(NYCのマンハッタン島と対岸のブルックリン地区を
結ぶ約 2,7km のつり橋)

1886年 コカコーラ発売

参考文献

有賀貞・大下尚一 『概説アメリカ史「新版」』 有菱閣 1999年

『世界史用語集』 山川出版社 1985年

Cayton Andrew, Elizabeth Israels Perry and Allan M. Winkler. *America: Pathways to the Present*. Needham, Massachusetts: Prentice Hall, 1995.

Selection of Mark Twain's Works

- The Innocents Abroad (1869) 『赤毛布外遊記』
- Roughing It (1872) 『苦難に耐えて』
- The Gilded Age (1873) 『金めつき時代』
- The Adventures of Tom Sawyer (1876) 『トム・ソーヤーの冒険』
- The Prince and the Pauper (1881) 『王子と乞食』
- Life on the Mississippi (1883) 『ミシシッピー川的生活』
- Adventures of Huckleberry Finn (1884)
『ハックルベリー・フィンの冒険』
- A Connecticut Yankee in King Arthur's Court (1889)
『アーサー王宮廷のコネティカット・ヤンキー』

The Adventures of Huckleberry Finn (1884) と the がついているものもある。

年表（参考例）

マーク・トウェインの生涯

- 1835 年 ミズーリ州フロリダに生まれる
- 1839 年 ミズーリ州ハンニバルに引っ越す
- 1847 年 父没す
- 1848 年 カリフォルニアで金鉱が見つかる
- 1850 年 地元紙『ハンニバル・ジャーナル』で働く

- 1857 年 ミシシッピー川の見習い水先案内人になる
- 1859 年 蒸気船の水先案内人の免許を得る

- 1861 年 西部のネバダに行く。南北戦争始まる

- 1863 年 ネバダのヴァージニアシティーの地元紙『テリトリアル・エンタープライズ』で働く。ペンネームをマーク・トウェインとする

- 1865 年 南北戦争終わる。リンカーン大統領暗殺される
- 1866 年 サンドイッチ諸島(後のハワイ諸島)に行く

- 1867 年 ヨーロッパ、中東を旅する

- 1870 年 オリヴィア・ラングドンと結婚

- 1874 年 コネティカット州ハートフォードの邸宅に住む

- 1876 年 『トム・ソーヤーの冒険』を出版

- 1884 年 『ハuckleberry・フィンの冒険』を出版

- 1910 年 マーク・トウェイン没す

テキストの *Who was Mark Twain?* p.102-103 から抜粋